

本郷放課後子ども教室(きらきら広場)(上三川町)

| | | | |
|---------|--|-----------|------------|
| 実施場所 | 本郷地域福祉センター | 小学校区 | 上三川町立本郷小学校 |
| 開催日 | 毎週火～金 13:30～17:30 | 年間開催日数 | 292日 |
| 参加対象者 | 本郷小学校 1年生～6年生 | 参加人数 | 約10人/1日平均 |
| 安全管理員数 | 15人 | 学習アドバイザー数 | — |
| 申込み手続き等 | 通常は自由来館、イベント行事には参加申込み要、教材費一部徴収、傷害保険に加入 | | |

【活動概要】

- 放課後居場所づくり “きらきら広場” 学習と遊び
(縁日コーナー、ままごとコーナー、ゲームコーナー、工作コーナー、読書コーナー)
- 毎月の活動内容を掲載した広報誌「きらきら館だより」を小学校区の全家庭、および関係機関に配布しています。
- 毎月、「今月の工作」を準備し、安全管理員が支援しながら子どもたちに自由に作成させています。(こいのぼり、ぱくぱくきつね、七夕飾り、ちょうちんフリスビー、タングラム、立体ゴマ、松ぼっくり怪獣、リボンのプレゼントカード、折り紙のクリスマスリース)
- 毎月、主に第2土曜日に行事を設定。
4月 こいのぼりの飾り 5月 こどもの日お楽しみゲーム会・フワ・アルゴメント
6月 フェルトボールのストラップ 7月 ふうせん卵・押し花アート・輪投げ大会
8月 CDバスケットづくり(クラフトテープ) 9月 輪投げ大会
10月 スライムづくり 11月 クリスマスリース 12月 クレープづくり・輪投げ大会
1月 お正月の遊びゲーム大会 2月 バレンタインのチョコづくり 3月 輪投げ大会
- 毎月安全管理員の情報交換の会議を持っています。
- 行事により、小学校教員、子育てボランティア、学生ボランティア等と連携して活動しています。



ふうせん卵づくり

☆教えてください、工夫やポイント☆

○活動内容はどのように決めてるの？

前年度の反省を活かし、年度始めに安全管理員の会議を持って設定しています。

○学校や保護者との連携を図る工夫は？

- ①広報誌「きらきら館だより」によって周知しています。
- ②年1回程度、活動についてのアンケートを実施しています。
- ③保護者の来館時に、できるだけコミュニケーションを深めています。

○ボランティア等の協力者を集める工夫は？

- ①広報誌による募集をしています。
- ②直接本人に働きかけもしています。

○活動がうまく進むポイントは？

- ①管理、企画、広報、環境整備、子育てサロン等の業務分掌を作り、活動を推進しています。
- ②毎日、センターの職員が変わるので、報告、連絡、相談を密にしています。

○活動や子どもたちへの想いを一言！

- ①子どもたちは、来館時に個性を表出した行動が見られます。個に応じたかわりあいをしていきたいです。
- ②集団行動では、男女、学年の枠を越えて、協力や思いやりの姿が見られます。さらに育っていくことを願っています。
- ③配慮を必要とする児童については、親との会話の場を持てるように努力します。



クリスマスリースづくり

【問い合わせ先】

上三川町教育委員会事務局 生涯学習課

〒329-0696 栃木県河内郡上三川町しらさぎ1丁目1番地

TEL:0285-56-9159

明治放課後子ども教室(上三川町)

| | | | |
|---------|----------------------|-----------|------------|
| 実施場所 | 明治コミュニティセンター | 小学校区 | 上三川町立明治小学校 |
| 開催日 | 祝日を除くほぼ毎日 | 年間開催日数 | 308日 |
| 参加対象者 | 明治小学校 1年生～6年生 | 参加人数 | 約15人/1日平均 |
| 安全管理員数 | 14人 | 学習アドバイザー数 | 14人 |
| 申込み手続き等 | 年度初め及びテーマ別に随時募集、申込み。 | | |

【活動概要】

次の三態様の子ども教室を開設して6年目になります。

1 月曜から金曜までの放課後の子ども教室

近くにある学童保育を補完する意味で放課後の居場所づくりに努めており、原則テーマを設けず、「宿題がすんだら」自由遊びをして、迎えが来たら帰るスタイル。

2 土曜と日曜の子ども教室

テーマが決められており、予め申し込んだ学童が来て開始。終了まで同一行動時間の遊びを行なっています。例えば英語、習字、ものづくり、楽器遊び、吹奏楽、ゲーム等です。

各テーマは、短くても1か月、多くが年間を通じて継続開催しています。

3 夏休み等長期休業中の子ども教室

午前と午後に分け、半日を費やして、予め応募したテーマを学びつつ遊ぶ教室で、単発的な講座になっています。例えば籐細工、万華鏡づくり、お茶、ポシエットづくり、勾玉づくり、ストーンペインティング、おやつづくり、田舎饅頭づくり、ソバ打ち体験等々です。



ゲームの風景

☆教えてください、工夫やポイント☆

○活動内容はどのように決めるの？

役員、指導委員、学校、PTAからなる、運営部会で年度初め協議して上記1, 2の分野のテーマを決定しています。長期休業前に再度内容、担当者、期日の調整を行って3の分野を決定し、募集のチラシを配布して実施しています。地域住民への広報も実施しています。

○学校や保護者との連携を図る工夫は？

教室の案内(チラシ配布)、毎月の予定表の配布、受講のすすめは学校が担っています。放課後には、低学年は担任等が付き添って来館することもあります。

学校の日課に合わせているので、その都度密接に連絡し合っています。

○ボランティア等の協力者を集める工夫は？

コミュニティ役員の意識と情報、町社協やボランティア団体とのコミュニケーションを欠かさないことで現在すすめています。

○活動がうまく進むポイントは？

「この講座の主眼は何か」さえ確認したら、指導者のやり易いようにコミュニティ役員がサポートに徹します。

○活動や子どもたちへの想いを一言！

子どもの態度、表情から学び、新たな発想が生まれます。教えることは教わることに始まるという内々で話し合っています。保護者の協力もありがたいです！



子ども教室
プラス「明児」

【問い合わせ先】

上三川町教育委員会事務局 生涯学習課

〒329-0696 栃木県河内郡上三川町しらさぎ1丁目1番地

TEL:0285-56-9159